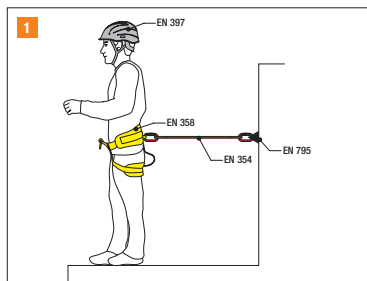


WORK-AT-HEIGHT TECHNIQUES

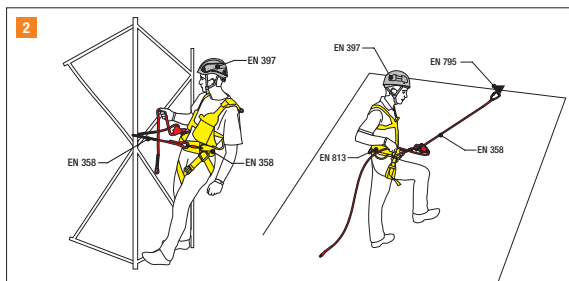
高所作業テクニック

高所作業時は、危険性、構造物、遂行する活動によって、下記の1つまたは2つ以上の選択が可能です。図解は可能な方式の型を全て網羅している訳ではありません。※国内の使用においては、法令に則った運用が必要になります。



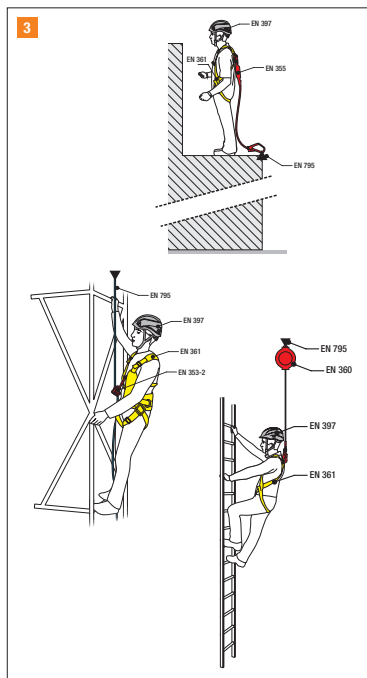
Restraint (移動制限)

アンカーポイントとハーネスの連結する長さを制限する事により、作業者が落下する危険性のあるエリアに侵入する事を防ぐ為に使われます。



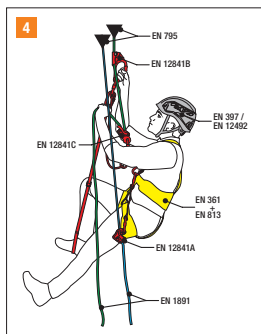
Positioning (ポジショニング)

落下のリスクを作る事なく、落下危険エリア内で作業者の安全を確保するテクニックです。バックアップコネクションとしてフォールアレストシステムが必要かどうかを考慮しなければなりません。



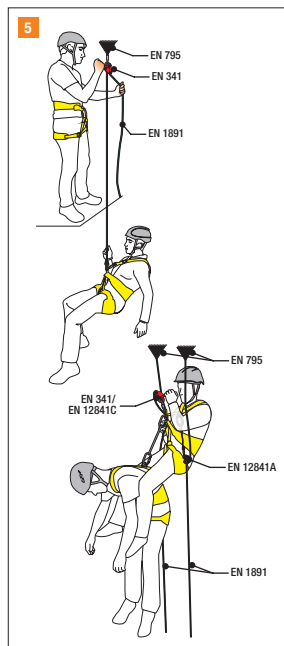
Fall Arrest (落下防止)

高所からの墜落を防止し、その衝撃を減少させるテクニックです。フルボディハーネスとエネルギー吸収機能付コネクションによって構成されたシステムでなければなりません。



Rope Access (ロープアクセス)

ロープを使用して登高下降することにより、作業場所に行き来する事ができる落下防止システムです。ロープアクセスシステムは、通常ワーキングライン上をアッセンダーを使用することで移動しますが、ワーキングライン上のトラブルを回避するため、フォールアレストデバイスをセットしたセーフティラインを併用します。



Rescue (人命救助)

パーソナルプロテクションシステムにより、自分または他の人を救助する事ができ、救助者と要救助者、両方の落下を防止します。下降または登高により作業箇所から安全な場所に避難する事ができます。救助システムは、1つのラインしか含みません。救助訓練中は、セーフティラインが必須です。救助システムは、全ての高所作業において常に想定され、安全に遂行されなければなりません。